

根岸製油所にて国内初のETBE製造装置が竣工 ～国産バイオガソリンの生産体制確立～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、石油精製部門である新日本石油精製株式会社(社長:大野 博)の根岸製油所(所長:前原 義彦)において、バイオガソリンの原料となるバイオETBE(エチル・ターシャリー・ブチル・エーテル)の製造装置(生産能力:10万KL/年)を国内で初めて完成させ、本日竣工式を執り行いましたのでお知らせいたします。

根岸製油所では、2007年4月より輸入バイオETBEを原料としたバイオガソリンを製造・出荷しておりますが、今回の装置新設で、バイオエタノールを原料とするバイオETBEの製造が国内で初めて可能となりました。原料のバイオエタノールは、北海道で製造された国産品を既に調達しており、今後、同製油所では国産を中心としたバイオエタノールを原料とするバイオガソリンを製造することになります。

同装置は試運転ののち、11月末より生産を開始する予定で、生産されたバイオETBEが配合されたバイオガソリンは、東京、神奈川、山梨、埼玉、長野、群馬、栃木の約1,000カ所のENEOSサービスステーション※で販売される予定です。

なお、当社グループは根岸製油所以外でも、2010年度以降供給体制が整った製油所・油槽所から順次、輸入バイオETBEを原料としたバイオガソリンの出荷を開始する予定です。

※取扱サービスステーションは、当社ウェブサイト(<http://www.noe.ix-group.co.jp>)で確認できます。



(左から(株)NIPPO 常務執行役員 エネルギー事業本部長 松原雄一、新日本石油精製(株)代表取締役社長 社長執行役員 大野博、経済産業省資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料政策企画室長 茂木正、横浜市安全管理局 局長 上原美都男、磯子消防署 署長 荒巻照和、新日本石油精製(株)取締役 常務執行役員根岸製油所長 前原義彦、東洋エンジニアリング(株) 代表取締役社長 山田豊)

